

印西大師 第3番 和泉・円光院中台堂（和泉会館）

1 名称 (No.003)〔手引鏡：中台堂〕〔資料館：中台堂〕〔行程表：円光院〕

2 場所 印西市和泉890付近 和泉会館
宝珠院観音堂から道程約900m。印西市消防団
第10分団第3部の建物の横の階段を上がる
GPS座標 35.82119057761238, 140.1233887766478

3 由緒 天台宗

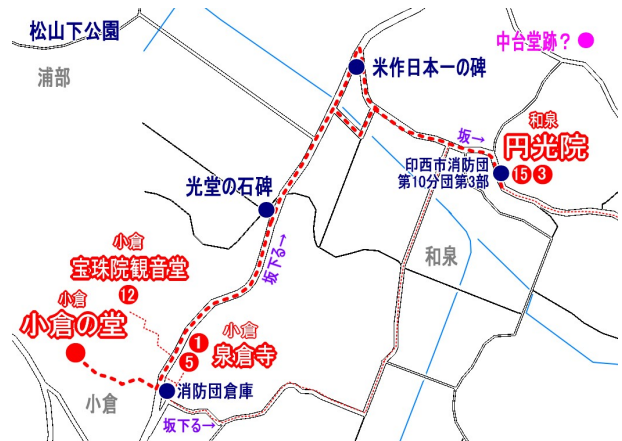
台885にあり天台宗で泉倉寺末、阿弥陀三尊を
本尊とする。(平成6年寺院堂庵明細表)

※阿弥陀三尊とは阿弥陀如来を中尊にして左脇侍に
観音菩薩、右脇侍に勢至菩薩を配する三尊形式

4 御堂 大師堂の中に丸彫の御大師様が1体あ
り。台座に文久3年(1863年)の銘あり(印西町調査報告書(追録))

5 境内

6 写真 (2019.06、2023.01撮影)



大師堂



御大師様



千葉ニュータウン方面



奉修印西大師結願供粮（供養）



和泉会館



大師堂と円光院

7 情報

(1) 印西大師 第3番 中臺堂 御詠歌（泉倉寺本による）

極楽の宝の池を思えただ 黄金の泉澄み湛(たた)へたる

四国八十八ヶ所 第3番 高野山真言宗 亀光山(きこうざん) 釈迦院 金泉寺(こんせんじ)

本尊 釈迦如来（徳島県板野町） 写し

(2) 米作日本一記念碑

木下から県道市川印西線を亀成橋の手前で左に曲がり、小倉や和泉へと通じる道が二股に分かれるところに、高さ1.8mの「米作日本一記念碑」と書かれた碑が草地の中に建っています。これは、昭和28年、永治村小倉の河内房吉氏が、農林省、朝日新聞等共催による米作日本一表彰全国競作大会において、県下第一位になったときのことを讃え記念して建てたものです。表彰時の収穫量は反当たり4石9斗9升7合と刻まれています。これを俵数に換算すると12俵半程に

なります。また河内家にある表彰状には712.136kgと記されています。

明治32年生まれの河内氏は、碑文にもあるように若いころより篤農の人として知られていました。米や麦の多収穫作法の研究普及に情熱を傾けてきました。また、碑の造立者として、衆議院議員寺島隆太郎の次に「千葉県作物多収穫研究会」「千葉県印西農芸研究会」という団体名が刻まれています。河内氏がこれらに深く関与し、近隣の多収穫を目指す同志が河内家をしばしば訪れていたということです。さらに、昭和45年に亡くなるまで全国水稻多収穫専門講師、千葉県主要作物多収穫研究会長、波状栽培研究会水稻専門講師などを歴任するなど、多収穫作法に一生を捧げた人といえるでしょう。(印西名所図会)



(3) 旧中台堂

中台堂は現在は第15番と同じ円光院の敷地にあるが、手引鏡では和泉・円光院→2丁26間(265m)→中台堂→7丁半3間(824m)→鹿黒・西光寺とある。(右図上)

距離的には西光寺へ向かう途中の墓地か鳥見神社の境内にあったのではないかと推測できる。しかし、明治40年の古地図(右図下)を見ると円光院の北に「卍」の記号(平成元年の地図にも卍の記号)があり、距離も200m余り、小字名も「沖之台」なので、ここがかつて中台堂のあった場所とも考えられる。

地元の方の話(2023年2月)では、円光院の北の「卍」の印のところに住職のいないお寺があって、小さい御堂に高齢の方がよく集まっていたという。堂の名称は不明。

